

新松田駅構内店舗 建て替え工事完成間近

構内店舗建て替え工事は平成26年11月に着工し、平成27年3月下旬に完了予定です。この工事は、店舗建物や設備の老朽化が進んでいること、店舗面積が狭小であることから、2棟を解体撤去し、平屋建ての建物1棟を新築するためのものです。

【問い合わせ】

小田急電鉄株式会社

小田急ステーションビジネスセンター

☎044(953)1484



↑工事前の店舗（平成26年11月7日撮影）

完成後の店舗構成

- ・名代 箱根そば [51.84㎡]
- ・箱根登山バス案内所 [11.34㎡]
- ・小田急ショップ(売店) [15.12㎡]



↑工事終了後の完成予想図（平成27年3月予定）

Tが行く! ② ~離乳食講習会の巻~

このコーナーでは町で行っている事業を広報担当者Tが体験し、取材をします。今回は「離乳食講習会」を取材してきました。

料理が不得意な方も、ぜひ、離乳食講習会にいらしていただきたいと聞いたので、料理ができないTが料理下手の視点から取材をしてきました。

当日、受け付けを済ませ、調理室に移動します。調理室では、参加者同士で簡単な自己紹介を行ったあと、配布されたテキストを使い、栄養士から離乳食の時期や方法、与え方などについて説明を受けます。受講者は思い思いにメモを取るなどして講習を聞いていました。

講習が終わると次は調理です。今回の参加者は私を含めて6人。調理は3人ずつの2班に分かれ、班ごとで行いました。メニューは「ご飯、白身魚のピカタ、ホワイトシチュー、青菜のお浸し」で

す。渡されたレシピを見る

と『乱切り、くし形に切る』など見慣れない言葉がズラリ。料理ができる心配になりましたが、栄養士からのアドバイスや、ほかの参加者と協力することで調理はさほど苦になりませんでした。私はほうれん草を茹でる係でしたが、ほうれん草を茹でるコツや切り方など、栄養士から教えていただき、簡単に茹でることができました。また、今回はありませんでしたが、ダシの取り方など、料理の基本についても学べるので、料理初心者にも安心して参加できそうです。大人用の料理が完成すると、次はいよいよ離乳食作りです。

離乳食講習会では、「大人用の料理の片手間で離乳食を作る」がコンセプトとな



↑舌触りを良くするために、材料をこしてからすりませます。

離乳食ができるのと実食です。調理の基本に沿って作った料理なので、味を確かめ、日頃の料理と味の濃さなどを比べながら食べま

なっていますので、離乳食の食材は、大人用の料理で使用した材料を使用します。

離乳食は、材料を網でこしたあと、すり鉢に入れ、すり棒ですり、栄養士からアドバイスをもらいながら、水の量で柔らかさを調整します。この柔らかさがポイントで、お子さんの月齢にあつた柔らかさにしていきます。中には「こんなに柔らかくするんだ」という声もあり、実習を通して学ぶことができます。

事業概要

この事業は原則として、奇数月の第3木曜日に健康福祉センターで実施されて

→大人用の料理(写真上)とお子さん用の離乳食。



す。その後、自分のお子さんに離乳食を与えることもできます。この離乳食講習会で初めてミルク以外の食事をとるお子さんもいらっしゃると思います。今回の講習会でも、初めて食べるお子さんがいました。離乳食は、お子さんの食事の始まりです。健康に育ててもらうため、お子さんが食べて良いもの、良くないものを学び、さらにバランスや塩分量に気をつけながら作る事が大切だと学びました。



↑初めて食べた離乳食。美味しかったようで、味わうように口を動かしていました。

また、実習の材料を用意する都合上、予約が必要となつていきますので、事業実施日の一週間前までに下記の問い合わせ先まで電話で予約してください。

準備が必要なものは三角巾とエプロン、母子健康手帳、調理実習の材料費(400円程度)となっております。また、実習の材料を用意する都合上、予約が必要となつていきますので、事業実施日の一週間前までに下記の問い合わせ先まで電話で予約してください。

【問い合わせ】健康福祉センター ☎(84)1195 子育て健康課 健康づくり係 ☎(84)5544

風

くかぜく

松田町長 本山博幸

松田町は、古くから交通の要衝として栄えて来た町。それは今も同じ。しかし、JR松田駅と小田急新松田駅の2つの駅は昔と変わらずありますが、昔と少し違うところがあります。それは、町内の商店街に賑わいが少なくなっていると思えることです。

商売を一生懸命続けていただいている店主の皆様には、誠に感謝しています。それでも、高齢化や後継者不足もあり、このままでは駅周辺が整備一新されても、歴史・伝統的な町内の賑わいが薄れていくのではないかと危機感を感じます。そうなるのは避けたい!という思いは、町民の思いではないかと思えます。そのためにも、町に多くの方に来ていただき、町に活気を取り戻す必要があります。

そこで提案です。

町全体をひとつのテーマパークにしてみませんか? 町には、歴史・文化を感じ、また残された手付かずの自然(里山)など多くの観光資源があります。それら一つ一つをエリア化して町全体をテーマパークとして、観光客(ゲスト)を呼び込む。そうすれば、町民だけでなく町外からの来町者も増え、町内の活気が復活すると思えます。

その第一歩として、ゲストに気持ちよく来ていただくために、道端にゴミが落ちていない町づくりをしましょう。2月から役員職員有志により通勤途中などにゴミを拾う運動を行っております。また、立花学園高等学校の生徒も毎日のようにクリーン活動に取り組みで頂いています。こうした運動が、町民全体での「おもてなし運動」となればクリーンな松田町に多くのゲストが来町され、おもてなしの心で心地よく感じて頂けると思えます。ぜひ協働のまちづくりの一環として、ご自宅の周りから結構ですのでご参画くだされば幸いです。